

2003年4月1日付新入社員の入社式について

1. 新日鉱グループのコア事業3社である、株式会社ジャパンエナジー(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)、日鉱金属株式会社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:大木和雄)および株式会社日鉱マテリアルズ(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:岡田昌徳)は、それぞれ本4月1日付をもって次のとおり新入社員を迎えました。

		ジャパンエナジー	日鉱金属	日鉱マテリアルズ
大学院・大学卒社員		17	25	5
(内訳)	事務系	10	5	2
	技術系	7	20	3
高校卒社員		12	6	3
計		29	31	8

※ 日鉱金属の大学院・大学卒社員技術系20名には、高専卒社員2名を含む。

※ 日鉱マテリアルズには、ジャパンエナジー電子材料株式会社1名を含む。

2. 本日、各社社長は、入社式でそれぞれ訓示を行いました。その要旨は次のとおりです。

・ジャパンエナジー社長 高萩光紀

『本日は、新入社員の皆さんにとって、社会人としての第一歩であるとともに、石油事業を専業とする新ジャパンエナジーの誕生の日でもある。皆さんの歩みが新ジャパンエナジーの歴史そのものになるということに気概と誇りを持っていただきたい。また、ともに仕事をしていく仲間として以下の点についてお願いしたい。』

- できるだけ早く「仕事のプロ」になっていただきたい。
- 「寄らば大樹の陰」という発想を捨てていただきたい。
- 常にアンテナを高く持ち、情報を見定める目を養っていただきたい。

皆さん方は「一企業人」である前に「ひとりの人間」である。当社の基本理念に掲げるとおり、仕事を離れたところでも「ひとりの人間」として社会のエナジーとなるべく自己研鑽に励んでいただきたい。』

・日鉱金属社長 大木和雄

『当社はかねてより、変化を先取りし、「資源の生産性革新に貢献し、非鉄金属の国際優良会社に成長する」ことを会社の目標とし、また、これにならぶ当社の理念を「質的志向による事業活動」とし、その実現に注力している。

当社は非鉄素材を内外の多くの顧客に提供し、その事業に誇りと愛着を抱き、成長性、収益性、将来性にゆるぎない自信を持っている。入社される皆さんには、当社の事業、皆さんの仕事に、誇りと自信を持っていただきたい。

また、事業環境の変化が早くなるにつれ、時間のムダをなくすことが、会社にとっても、個人にとっても重要になってきている。貴重な時間を大切にし、効率的に仕事をするよう努力してほしい。

皆さんが誠実で信義を重んじる国際人として、当社とともに成長されることを期待する。』

・日鉱マテリアルズ社長 岡田昌徳

『当社は、今年の秋には電子材料製販一体の会社となる。新日鉱グループのコア事業会社として、電子材料分野のリーディングカンパニーを目指す。皆さんには以下の点について心がけてほしい。』

- チャレンジする
自分の専門領域では誰にも負けない力をつけるように努力してほしい。
- スピードを重視する
テンポの速い業界にあるため、何をなすにもスピードを重視する。
- コミュニケーションを大切に
上司や同僚とよくコミュニケーションをとり、仕事本位の発想で、仕事のことであれば遠慮なく議論してほしい。
- 会社を魅力あるファーストベンダーにする
会社の目標である、魅力あるファーストベンダーになるために、精一杯努力してほしい。』

3. また、各社入社式の後、新入社員を一同に介し、新日鉱ホールディングス 野見山昭彦 社長が新日鉱グループを代表して訓示を行いました。要旨は次のとおりです。

『新日鉱グループの「第一期生」とも言うべき皆さんをお迎えすることができ、喜ばしい限りである。グループ全体の立場から以下の点について心がけるようお願いしたい。

- 常に変革に対して前向きな姿勢を維持する
自ら変化を創り出していくという気概をもって困難に果敢に挑んでほしい。
- ネットワーク作りに励む
グループ内の横断的な人間関係の構築に加え、仕事に拡がりを持たせるためにもグループを超えた人的交流を持ち、幅広いものの見方を身に付けてほしい。
- 専門分野において第一人者になる
自分の携わる専門分野に関してはどこでも通用する斯界一流のプロとなることを目標にし、自らの練磨に努めてほしい。

また、企業の発展にはコンプライアンスの徹底が大前提であり、社員一人ひとりが高い倫理観を持つことが必要である。社員が企業倫理に基づいた個人の倫理観、価値観を持ち、さらには、グループ全社員が同じ価値観を共有していただくことを願う。』

以上